

ばらネット・にしお

「仕事も家族もあきらめない」
ワーク・ライフ・バランスについて考える

告知

市制65周年記念事業
第2回ばらネットセミナー



講師

株式会社 佐々木常夫マネージメント・リサーチ

代表取締役 **佐々木常夫氏**

病気の妻と障害のある長男を守るため、職場の理解を得ながら一流企業のトップにのぼりつめた、佐々木氏。働きながら家族再生を果たした彼の「仕事と家族」それぞれへの向き合い方についてお話しいたします。

メディア出演をめったにされない、佐々木氏のお話を聞けるチャンスです！

日時：平成31年1月19日(土)
午後1時30分～
場所：西尾市文化会館 小ホールにて

◎男女共同参画に関する川柳募集中！！

優秀作品は第2回ばらネットセミナーにて、表彰予定。詳しくは、市HPをご覧ください。

もくじ

- *ワーク・ライフ・バランスについて考える
 - ・調査結果からみえる西尾市のワーク・ライフ・バランス…………… P2
 - ・いきいきさんへのインタビュー…………… P3
- *女性の活躍団体紹介 【西尾商工会議所女性会】…………… P4
- *ばらネット個人会員紹介…………… P4

西尾市男女共同参画情報誌は、市民活動グループばらネットと行政との協働により作成しています。

「男女共同参画」

毎日の仕事と家庭、少し見直してみませんか？

ワーク・ライフ・バランスについて考える

西尾市では、男女がともに働きやすい環境づくりや介護、子育て中の人への支援に積極的に取り組むなど「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の推進を図っています。

今年度は、平成31年1月にワーク・ライフ・バランスに関する講演会の開催を予定しています。職場や家庭でいきいきと輝けるよう共に学んでいきましょう。

ワーク・ライフ・バランスとは？

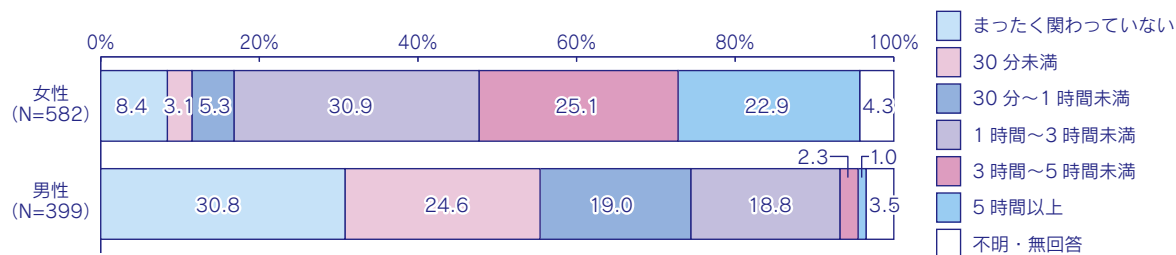
働く人の「仕事」と、家事・育児・介護や、趣味・学習・休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和がとれ、その両方が充実した状態をいいます。

調査結果からみえる西尾市のワーク・ライフ・バランス

平成29年9月に、市民2,000人を対象に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。

①平日の家事時間について

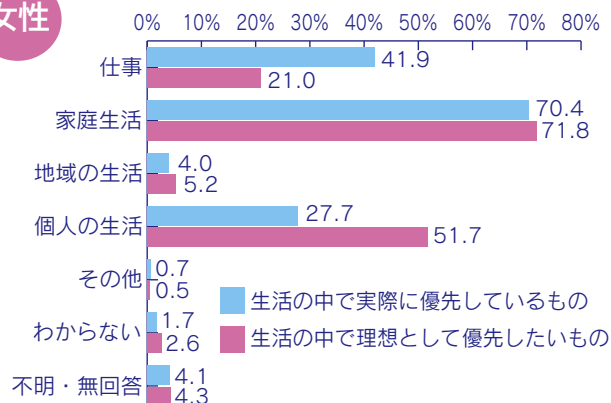
平日の家事時間は、女性で「1時間～3時間未満」、男性で「まったく関わっていない」が最も多く、男女で家庭生活に従事する時間に大きな差が見られます。



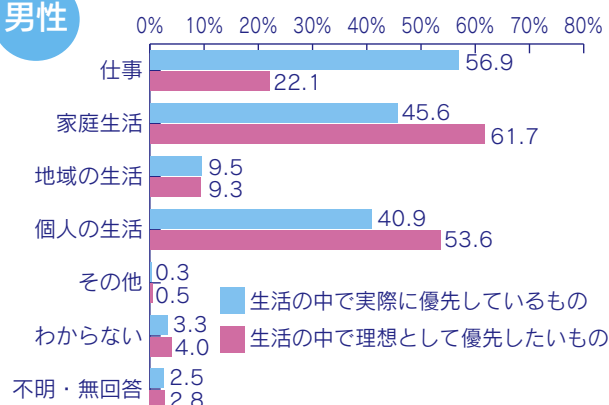
②理想とする暮らし方について

生活の中で理想として優先したいものの“個人の生活”について、女性は男性と比べ実際と理想に大きな差があり、女性は男性に比べ自身の時間より周囲への時間を優先している状況が伺えます。

女性



男性



いきいきさんへの インタビュー

子育て期、中高年期などその人の置かれた状況に応じて、それぞれの生き方・働き方で仕事と生活のバランスをとり、いきいきと暮らしている人を見つけました。

生活の中で大事にしていることは？

実家が遠く日常的に頼れない、近所に子育て仲間がない中で育児をスタートしました。

子育ては孤独になりがちだと思います。まず外に出かけるように心がけ、支援センターや児童館、育児講座やイベントに出かけて同じ環境の仲間づくりをしました。

また、育児講座や子育て中の仲間と情報交換して、子育てについて疑問に思っていることをなるべくクリアにしました。現在、困った時に助けとなり、相談にのってくれる仲間がいることが心の支えになっています。全てにおいて、問題を一人で抱え込まないようにしています。

家庭内で役割分担はどのようにしていますか？

夫婦でお互いに相談し合うことを大事にしています。私も夫も同じ仕事をしています。家事については相談して役割分担しています。また、夫も私も仕事以外に様々な団体に所属し活動しているので、お互いの予定を報告し合って、育児中も活動できる環境作りをしています。



大阪府出身・西尾市在住
家族構成：本人、夫、長女（2歳）

岡野 利美 30代
（おかのとしみ）さん

あなたにとって仕事って？家族って？

私は家族が笑顔でいられるための仕事をしたいです。仕事をしすぎて家族の笑顔が失われるようなことにはしたくないです。仕事と育児の両立は大変なこともあるけれど、子どもが小さいうちのひと時のこと、これも人生の中で大事な期間だと思っています。まずは家族が笑顔でいられることを大事にして、それを軸に生活しています。

特に意識している役割は？

子どもに関わるドッジボールやPTA等の役を引き受け、地域ボランティア活動に参加しています。しかし、やらされているつもりはないのでいつも楽しんで周りの人たちと交流を深めています。

仕事と家庭のバランスをどのように意識していますか？

普通に働いています。調整はしますが、家事をするために仕事を疎かにはしません。

問題の解決方法

ワーク・ライフ・バランスを考える時、あまり問題を感じる事はありませんが、問題がすぐ解決するものではない場合は、ひたすら我慢です（笑）

また、忙しい時程、落ち着いて行動や言動に注意するように心掛けています。

あなたにとって仕事って？家族って？

<仕事>当然、生きるため、家族を養うための仕事ですが、人のためになっているという、人間としての成長に対する充実感を味わうためのものだと考えています。

<家族>生き甲斐、自慢の家族です。夫婦や子どもの将来を想像することが私の楽しみです。



西尾市一色町出身・在住
家族構成：本人、妻
長男（17歳）、長女（15歳）

深見 崇 40代
（ふかみたかし）さん

家事の役割分担はどのようにしていますか？

妻が主体と考えているので、子どもの送り迎え、風呂掃除、ゴミ捨て、仕事の合間に食事の支度等、自分のやれることを気付いた時に行動しています。

なるべく家事を「手伝っている」という意識をしないよう心がけています。



女性の活躍を応援する企業・団体を紹介します

このコーナーへの掲載を希望する企業・団体を募集中です!!
詳しくは、西尾市役所 地域支援協働課（下記の問い合わせ先）までお問い合わせください。

西尾商工会議所 女性会

私たち西尾商工会議所女性会は、事業者として、また事業者を支える家族や、パートナーとして活躍している会員の皆さんと、意見交換を行う研修会や安らぎの場となる交流会を催しています。

《基本方針》

- *商工業に携わる女性の資質向上を図る。
- *会員相互の親睦と連携を密にし、組織の充実を図る。
- *地域振興と社会への貢献を図る。

《主な活動》

みどり川清掃活動、産業物産フェア、茶話会、交流親睦会、交流視察会など

《産業物産フェア》

昨年の産業物産フェアでは商工会議所青年部と協働で輪投げを行い2日間で600人ほどの子どもたちとふれあいました。今年は、サンマ3,000匹を焼いて、市民の皆さまをお迎えし、産業振興のお手伝いをさせていただきます。

◎これらの活動を通して、仲間とともに苦労や辛さ、達成感を分かち合い、楽しみを元気にかけて、活気あるまちづくりに貢献できる団体でありたいと思っています。



<産業物産フェアの様子>

ばらネットの個人会員を紹介します♪



中村 健さん
(高落町)

私は平成27年にばらネットでの講演会を聴いて、男性も入れることを知り、「ばらネット」に入会しました。女性も男性も、ともに生き生きとした生活を営んでいくためには、性差による役割の固定化は望ましいと言えません。男女共同参画というと、かきこまって捉えられがちですが、それぞれの人が、その個性や人となりによって認められ、活躍できる社会を創っていくということであると考えています。

ばらネットの活動が広く理解をいただき、その輪が広がっていくよう、一会員としても精力的に努めていきたいと思っています。

ばらネットは、女性の社会参画の推進、行政との協働、男女共同参画社会の実現を目的に、活動している市民グループです。平成17年2月に設立した団体で、市内で活動する団体と個人会員で構成されています。

会員数は、約600名で、毎月1回、協働事業に係る企画・立案を考えるため、行政との打合せ会議を行っています。主な活動は、ワーク・ライフ・バランスを考える様々なテーマで、年4回ほど団体の名称を入れた「ばらネットセミナー」を行政と協働で開催しています。その他、ばらネット単独事業として会員のスキルアップを図るための勉強会や交流会を行っています。



ばらネット会員を募集します! 各種団体の皆さん、個人での会員登録、男性会員も大歓迎です。私たちと一緒に活動してみませんか?

【編集・発行・問い合わせ】

西尾市役所 地域振興部 地域支援協働課 〒445-8501 西尾市寄住町下田22番地

TEL : 0563-65-2178 FAX : 0563-57-1314 E-mail: kyoudou@city.nishio.lg.jp

【編集協力者/市民活動グループばらネット】 手島とし子、坂部三枝子、山崎裕子、太田信吾、榎原裕美

